



お風呂は
外へ出るな！

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

あらすじ
エルフナインの実験の副作用で
発情しっぱなしになって
しまったクリスちゃん！



学校のトイレでこっそり
オナニーしているのが未来さん
にバレて半ば強引に夜の公園に
呼び出される事になった...



「た〜く〜ア〜ン〜ン〜ん〜な時間呼び出しやがって〜」
「〜はあ〜の〜それだ〜でも全然おさまりやしねえ〜」

「〜思いのきりみられちまったし〜」
「〜何がするって言ったけど〜何されるんだ〜」

「〜恥ずかし〜」

もじり

もじり

「くそっ...また疼いてきちまった...」

「〜も〜な〜ん〜」



「はーい♡全部脱いだら手後るねー♡
隠しちゃだめだよー♡」

「あー山ガワリスのたらこっちの毛
全然処理してない♡」

「はう♡恥ずかし♡見るなあ♡♡♡♡♡」

「えーでもその前にはワリスのおまんこ♡
べちよべちよだよ♡今日♡期待してたんでしょ♡」

はー♡♡♡ はー♡♡♡

「遠の♡アタシはそんな変態じゃ♡♡♡」

「うっん♡変態だよ♡ワリス♡
私たちは今お外で裸になってる♡♡♡♡♡」

「はーい♡♡♡やああ♡♡♡」

ガキ♡

アアア♡♡♡

ガキ♡

たっ♡♡

ガキ♡♡

ドク♡♡

ドク♡♡

ガキ♡♡

「お……おい……ホントにそんなモン挿れるのか……」

「あれ……もしかしてクリス、怖いのか……」

「なに……なに……アッおえけび……だ……だ……それ……それ……」

「だ……だ……ぶ……痛くないよ……
ふ……ふ……クリス……たらお尻の方までちよつと毛生えてるんだ……」

「う……え……の……や……つ……見るな……見るな……」

「クリス……で……え……ら……な……アッおえ……ん……ん……も
知らないのに……き……く……え……ら……ち……な
身体して……る……よ……ね……」

「う……う……も……う……や……だ……あ……」



「そんなアッ言っても興奮して
腰動いちゃってるよ……」

「ふ……ふ……ぶ……じ……や……あ……い……つ……ぱ……い
キモチよくしてあげるからね……」

「どおのクリスッお尻の穴ッ
アナルオナニーキモチいいッ」

「んぎっももちいいッ
あにやるっしゅきいッ」

「よかつたッ
でも初めての露出プレイで
アナルでイけちゃうなんて
やっぱり変態なんだねッ」

「おひえっんああッ
ひえんたいじやにやいいッ」

「ふふっ変態ッ変態ッ
んたぐいっお外でケツアクメして
思いつきりイっちやえっ」



「お、おい！ トイレはまだかよ！
この公園！ 広すぎるだろ！」

「クリスったらそんなにおしっこ我慢してたの？」

「うう… うるさいっ…
し、仕方ないだろっ…」

「じゃあ仕方ないから…」

ガッ

「フンでおしっこしちゃおっか♡」

「はあぁ！ ばっ… そんな変態みたいなの
マネできるかよ！」

キ

「はっ」

「はっ」

「だって私たち今は変態なんだもん
し、どうかないでしょ♡」

キ

「それに… お外でおしっこすると
と… ってもキモチいいんだよ♡」

カ♡♡

『ほらほらくおしっこしちやおうよおつ』

『ひあつ…や、やだあ…』

『えく…響はおしっこしてくれただけだなー』

『じゃあ私も一緒にしてあげる…それ…に…
どうせ色々我慢できないんでしょ…
もうっ…んにおまんこどろどろ…』

ははは

おっ

ガッガッ

おっ

おっ

おっ

『あ…あ…あつ…弄っちや…』

『わかったってえ…だからやめっ…
もう弄るなあ…』

おっ

『やっ…ふふっ…響にも見せたかったな…
ホントは響も来る予定だったんだよ…』

『やあつ…あのバカに見られたら
恥ずかしくて死にじまうっ…』

『大丈夫…今は私しかいないから…
一緒におしっしょようね…』

「んっ♡♡♡あつ♡♡♡もつ♡♡♡と下だよ♡♡♡
もう♡♡♡♡♡♡♡さつ♡♡♡き私がしてあげたのに
全然ダメなんだから♡♡♡」

「ちゅっ♡♡♡れるっ♡♡♡ぶはっ♡♡♡
んなコト言ってもしゅーねーだろっ♡♡♡
そもそも他人のあ♡♡♡アソコ舐めるなんて♡♡♡」

「でもすっ♡♡♡キモチよかつたでしょ？
おまんこに私の顔押し付けて
身体中がくぐくぐさせながら喘いでたくせに♡♡♡」

「うっ♡♡♡うるせえっ♡♡♡だっ♡♡♡てそれは♡♡♡その♡♡♡
お前があんなに♡♡♡救しくするから♡♡♡っ♡♡♡」

「ふっ♡♡♡まあ今日は初めてだから多少は
許してあげる♡♡♡♡♡♡♡るですっ♡♡♡と思っ♡♡♡てたんだけど♡♡♡
クリスって結構DMだったりするよね？♡♡♡」

「はあ♡♡♡...♡♡♡そんな事♡♡♡」

「はー♡♡♡はー♡♡♡はー♡♡♡はー♡♡♡
あ♡♡♡いじしょーぶ♡♡♡響と一緒だね♡♡♡
ああ見えて響も結構変態なんだよ♡♡♡」

「そっ♡♡♡だ♡♡♡♡♡♡♡クリスにぴっ♡♡♡たりのおもちやあるんだ♡♡♡」

れろ♡♡♡

ちゅっ♡♡♡

れろ♡♡♡

ちゅっ♡♡♡

ちゅっ♡♡♡

ちゅっ♡♡♡

ちゅっ♡♡♡

「んっ♡♡♡あつ♡♡♡もつ♡♡♡と下だよ♡♡♡
もう♡♡♡♡♡♡♡さつ♡♡♡き私
がしてあげたのに全然ダメ
なんだから♡♡♡」

「あ♡♡♡いじしょーぶ♡♡♡響と一緒
だね♡♡♡ああ見えて響も結構
変態なんだよ♡♡♡」

「クリス…もう少し歩いたら右だよ」

「ふあ…ああああ…
ま、待って…アソコ…震えて…
歩けな…あ…」

「アソコって…アソコ…
ちゃんと…私わがら…」

「それは…その…お…お…」

「ねえクリス…もし私がここでリードを放して…
行っちゃったらどうする？公園の真ん中で裸で縛られて
目隠しされたまま…」

「あ…あ…」

「ん…！嘘だろ…！
わ、わかった…言うからあ…」

「お…おまんこ…
おまんこ…イキそう…
許してくれえ…」



「はーい♡♡♡うちやぐく♡♡
じゃあおまんこイキそうまで
我慢できない♡クリスにアレセント♡♡」

「ほら見て♡私と響のお気に入り♡♡」

「私もそろそろ我慢できないし♡♡
♡♡♡で一緒にイキまぐうちやあ♡♡」

「えっ…はあ…？嘘だろ…？
そんなモンつつこむのが？
無理に決まって…」

「でもクリスもおまんこに
何か挿れてオナニーしたコト
あるでしょ♡♡」

「ひっ…それは…♡♡」

「だいじよーぶ♡気絶するくらい
キモチよくしてあげるね♡♡」



フルフル

ドキ

ドキ

ポイント

ガッ

ガッ

ニッ
ニッ

ズンズン

ズンズン

ズンズン

トロー

はっ♡はあ♡ん♡ん♡ん♡
ええ♡♡♡クリスったら
すっぴい顔してるよ♡ん♡あ♡♡

うあ♡♡
あ♡♡

わあ♡そんな大きな声
だしちやって♡あ♡♡
キモチいい♡

あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡

ふふ♡♡やっ♡と赤直に言える
よっ♡になっ♡たね♡ん♡♡
でも♡♡私もまたイキそうだから♡♡
やめてあげない♡♡♡

ど♡♡

あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡

あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡

あ♡♡♡あ♡♡♡
二人で♡♡一緒に♡♡♡

あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡

「あつ♡あつ♡あつ♡またイク♡
おまんこ♡しゅき♡んお♡
お♡お♡お♡」
「あん♡や♡もおクリスつたら
腰動かしすぎ♡♡これじゃ私も
またイク♡やうよ♡」
「らっ♡え♡オホ♡
キモチいい♡らからしよーがねーらる♡」

あつ♡あつ♡

ちゅ♡ん♡

ちゅ♡ん♡

ちゅ♡ん♡

ちゅ♡ん♡

あとがき

どうも、ピケルです。「そういうコトは外でやれっ！」如何だったでしょうか？初めてのシンフォギア本だったので、マンガ形式ではなく一枚絵形式になりましたが個人的にはしっかりまとまって良かったと思います。

内容に関してですが、響も出そうか迷ったのですが、あくまでクリスがメインなので今回は二人にしました。未来は普段は響と露出プレイをしています、今回はうまく性欲処理ができないクリスのために、露出プレイに誘った形です。最初は響と一緒にクリスの所に行く予定でしたが、響はレポート課題がたまっていたので、寮でお留守番です。

本当はもっと前からシンフォギア本は作りたかったのですが、個人的にシンフォギアは熱くて格好いい作品というイメージが強く、なかなかエロい目線で見れなかったのが、本の構想がまとまらなかったというのがあります。ですが、ソーシャルゲームがリリースされ、AXZ、XVとシリーズが増えて、イメージが固まり本の制作につながりました。TVシリーズはXVで完結となりましたが、ソーシャルゲームや遊技機等で話題も多く、とても熱のある作品なので今後の展開も期待したいです。

さて、来年の予定ですが、イベントに参加するかはまだ未確定ですが、シンフォギア本の続きや、久しぶりの星奈ちゃん本、できればオリジナル本も考えています。また、書店頒布となりますが、GirlsPutOut!シリーズも制作する予定なので楽しみにして頂ければと思います。

それでは来年もよろしくお願いします。

そういうコトは外でやれっ！

著者:ピケル
編集者:弦乃ぱいん

発行日:2019年12月31日
初出:コミックマーケット97
発行:つるつるパイん

印刷所:大陽出版株式会社

mail:info@tsurupai.xii.jp

ピケルtwitter
(@pikel916)



つるつるパイんtwitter
(@tsurupaiinfo)



★警告★本作品の全部又は一部を当サークルに無断で加工・改変し、公衆回線を通じてインターネット上に公開する事を固く禁じます。また本作品は架空の世界を題材にしたものです。実在の団体・人物・法律等とは一切関係ありません。フィクションはフィクションとしてお楽しみください。



つるつるパイん